

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)の説明書・同意書

1. 検査の目的・必要性

上部消化管内視鏡検査は食道、胃、十二指腸の中を直接内視鏡で観察し、胃炎、潰瘍、癌などの病気をみつけ適切な治療を考えるために行います。

2. 検査前の注意

バイアスピリン、アスピリン、バファリン、パナルジン、ワーファリン、プレタール等血液が止まりにくくなる薬を服用している方は事前に申し出てください。ワーファリンを内服されている方は、検査前に PT 活性(血液の凝固時間)を測定・確認後、安全と判断したのちに内視鏡検査を行います。

3. 検査・治療の具体的方法

- ① 胃の中の泡を消す薬を服用し、その後、喉または鼻の麻酔を行います。
- ② 内視鏡を口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を観察し、病変の有無を確認します。
- ③ 病変を認めた場合には、病変の一部を採取して、顕微鏡で良性悪性の判定をします(生検検査)。

※経鼻内視鏡の場合:鼻腔が狭いときには、挿入が不可能な場合があります。また、ポリープ切除や止血術は困難です。これらの場合には、経口内視鏡に変更したり、検査日を変更することがあります。

4. 上部消化管内視鏡検査による危険性(合併症)

麻酔や鎮痙剤、鎮静剤によるアレルギー反応、気分不良、ショックなどがおこりえます。内視鏡の接触による疼痛や軽度の腫脹、出血(消化管・鼻腔)、歯牙損傷、嘔吐反射による粘膜の損傷及び出血(大出血は五万分の一)がおこりえます。咽頭、食道、胃、十二指腸に穿孔(五万分の一)を起こすことがあり、大きな潰瘍や腫瘍があると確率がやや高くなります。生検を行うと潰瘍形成や大出血を生じることがあります。

合併症によっては入院となり、輸血、緊急開腹手術、その他の治療が必要になることもあります。

5. 鎮静剤を使用した場合、鎮静後の注意事項

目が覚めたあとも薬の影響が残ることがあり、眠気やふらつきが生じることがあるので、検査後 30-60 分程度病院で休んでいただく必要があります。また、当日は、自動車・バイク・自転車の運転や機器の操作はできません。ご自分で運転して来院された方には鎮静剤を使用できませんのでご注意ください。なお、外来検査時・帰宅の際には、ご家族が付き添ってくださることをお願いいたします。

年 月 日 紹介元医療機関名

説明医師

印

同席者

同席者なし

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)に関する同意書

私は、上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)に関して、その必要性と合併症の説明を受けました。その内容について、

- 理解しました。納得、同意します。また万一合併症を生じた場合、必要な処置を受けることを承諾します。
- 理解しましたが、同意しません。
- 理解できませんでした。

年 月 日 本人のご署名

家族または代理人のご署名

(続柄:)

※一旦同意した場合であっても、実施前であれば同意を取り消すことができます。

※当院および他施設でのセカンドオピニオンをご希望の場合には申し出てください。

※患者本人が未成年者や成人であっても判断能力が十分でない場合には、代理人に署名される方が本人欄を代筆ください。

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられる方へ

☆ 検査当日：紹介状をお持ちの方は「紹介患者受付」においでください。

胃カメラの検査は、口又は鼻からカメラ（内視鏡）を挿入して食道・胃・十二指腸の中を観察し、病気を発見するための検査です。そのため、検査する部分をきれいにする事が大切です。食事の注意を守り、安全に検査を受けられるようにご協力をお願いいたします。



*薬を内服している方は、中止する場合がありますので、主治医の先生とご相談ください。

検査前日	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 消化の悪いものを食べないようにして下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 海藻類（昆布・ワカメ・海苔・ひじき等） ➢ たね類（キウイフルーツ・いちご・ゴマ等） ➢ 繊維の多いもの（エノキダケ等のキノコ類・わらび・ゴボウ・さつまいも等） ◆ 夕食は夜8時までに済ませます。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水・お茶・白湯などの水分は普段どおりにお飲み下さい。 ◆ 中止薬以外の薬は服用します。 	
検査当日	<p>《持参するもの》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の説明書・同意書 ◇ 保険証 ◇ 診療券（当院のものをお持ちの方） ◇ 入れ歯のある方は入れ物（専用容器又はビニール袋）をお持ちください ◇ お薬手帳 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 朝から何も食べないで下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・起床後はコップ1杯程度の水・白湯は飲んでもかまいません ・薬は医師の指示により服用してください ◆ 糖尿病でインシュリンを注射（服用）している方は、朝の分を使用しないでください。 （高血圧の薬は、必ず朝6時ごろ服用してください） ◆ ゆったりとした服装でおいでください。首もとの長い服装は避けてください。 ◆ 当日のお化粧品は、検査前に落としておいてください。クレンジング等はご持参ください。 	
検査後	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 検査後医師より検査結果の説明を致します。 ◆ 検査後、のどの麻酔がしばらく残ります。 検査の1時間後に水分を少量飲み、ムセがなければ水分・食事をおとりください。 <u>組織検査をした方は、検査の2時間後</u>に水分を少量飲み、ムセがなければ水分・食事をおとりください。食事は消化の良いものを摂ってください。 ◆ 腹痛・強いはき気などがある場合は、病院にご連絡下さい。 	<p style="text-align: center;">＜問い合わせ先＞</p> <p>電話(代) 0467-52-1111</p> <p>平日 昼：内視鏡室へ</p> <p>夜間・休日：当院救急担当者へ</p>

- 70歳以上の方・お体の不自由な方は、できるだけ付き添いの方と一緒に来院ください。
- 麻酔を使用する場合は、原則入院が必要になります。